

日本動物看護学会 第49回例会 関西地区第10回例会 実施報告書詳細

《開会の挨拶》本学会理事であり、日本獣医生命科学大学 獣医保健学科教授 石岡克己先生にご挨拶いただきました。

看護学会は学術を生業にする機関であり、それを充実させるのがこの関西例会である。毎年活発なこの関西例会を大きなものにしたいと抱負をお話して頂き開演となった。

《口頭発表》4題集まり、2題が動物病院に所属している動物看護師から、1題が専門学校からの発表、1題が一般からの発表であった。

1題目

犬の肛門嚢絞り処置後に生ずる悪臭に対する'おしりまわり洗浄液'の消臭効果

葛城生命科学研究所 中村 有加里

2題目

当院のパピークラス参加者の犬の飼養に関する意識調査

ゆうなぎ動物病院 齋藤 里佳子

3題目

老齢による前肢後肢の衰えに対するマッサージ療法の一例

一般社団法人日本動物マッサージ協会 福山 麻美子

4題目

飼育動物の環境改善プロジェクトの実施と評価～セキセイインコの事例～

YIC京都ペット総合専門学校 動物看護科 木戸 優香

内容は上記のとおり、さまざまな角度からの研究、報告発表であり、動物看護師の仕事の多様性を感じるものであった。

関西例会の持ち味の質疑応答も見られ、活発な意見交換ができた。

《ランチョンセミナー》

特別協賛いただいているユニチャーム株式会社様より小松原 大介先生をお招きし、老齢動物の暮らしについてご講演いただきました。

同社が企画、制作した高反発マットの使用例や、介護の事例などを交えて講演頂いた。

日々動物病院だけでなく、自宅での介護をしている動物看護師、学生も見受けられ、帰ってから実践できる内容を学べたセミナーとなった。

《教育講演》動物看護師で、病院マネジメントや動物看護系専門学校で講師を務めている山下かおり先生に『明日から実践できる動物看護記録』のテーマで教育講演を開催した。講演は前半と後半の2部で構成され、前半ではなぜ動物看護記録を行わなければならないのか、どのように記録を残していくのかについて、後半では、講師の希望もあり、事例を基に看護問題や客観的情報の整理の仕方をより実践的に学ぶためワークショップを行った。

前半では、なぜ動物看護師は「プロフェッショナル仕事の流儀」に出演できないのか？の問いかけに対し、それは私たち動物看護師が、自分たちが行ったことや考えプランなどを記録に残していないからだ、と、持論を述べられ、難しい内容でも受け入れやすいようユーモアあふれる講演となった。

後半のワークショップでは、一つの事例を基に会場全体が一つ一つの看護問題を洗い出し、客観的な情報として記載し整理していく内容であった。

記録をするのが初めての参加者（学生）も多く、みな真剣に取り組む姿を垣間見れた。自身のレベルアップだけではなく、動物看護師としてプロフェッショナルとしての感性も高められた教育講演だった。

《閉会の挨拶》看護学会理事長の桜井富士朗先生にご挨拶を頂戴した。

関西例会に参加し、動物看護師の仕事の多様性を感じる。それについていかなければならない、対応していかなければならない、という今後の課題をお話しいただいた。次回は関西で大会を検討している段階というお話も頂いた。

《懇親会》56名に参加いただいた。常任理事の崎山法子先生に挨拶と乾杯の音頭をお願いした。学生、現職動物看護師、学校講師、たくさんの業種の参加者がいたが、名刺交換をする姿も見られ、良い交流会になった。

《企業ブース・スタンプラリー》今回は、過去最大16社に出展頂いた。今年も、大ホール1室を企業ブースとし、部屋を分ける事無くブースを設営できた。

ブースの中には、ご協賛いただいたコーヒーショップも設営し、参加者が入りやすいブースになるように配慮した。

スタンプラリーでは8社（コーヒーショップ以外）が協賛してくださり開催が出来た。スタンプラリーの開催により参加者はブースに足を運ぶきっかけとなり、企業様側は製品をより多くの方にアピールする事ができ、その結果、企業様側そして参加者双方より満足との声を頂く事が出来た。

スタンプラリー賞品も各企業様からのご協賛もあり、とても豪華なものになった。当選者からは、嬉しそうな笑顔が見られた。

同室に、今回初の企画『当院の家族への寄り添うところ 発表会』と題し、各病院の飼い主向け工夫の展示会も行った。ポスターに指をさし熱心に読んでいたり、友人を呼びふたりで興味深そうに見ている楽しそうな姿も見られた。

《最後に》桜井理事長や看護学会事務局 竹内様、そして関西の理事の方など看護学会本部のご協力や、各企業・団体様、会場を貸して下さった専門学校とボランティアで運営を手伝って下さった専門学校の学生、勤務がありながら携わってくれた運営委員のみなさまをはじめ数えきれない数の方々のご協力と励ましの上で例会を開催させていただいたことに感謝申し上げます。

運営上の反省点は多々ありますが、ご講演いただいた、教育講演、ランチョンセミナーはとても勉強になるものであり、また、口頭発表も多様な演題で、参加いただいた方に満足していただけるものをとの想いで当日まで走ってきました。

企業ブースは、とても居心地が良かったようで、絶えず人が集まる場所となっていた。

今回、皆様から頂いた一つ一つのご意見を参考にしながら、関西例会は大会を担うこと

が決定したことで、さらに中身も充実させ、現職の動物看護師のみならず、学生、そして多くの企業様から参加や出展を希望してもらえる例会に成長していかなければならないと決意致しております。

運営委員長は交代いたしますが、今回の反省を活かし、今後も躍進し活気ある関西をもっと盛り上げていきたいと決意致します。何卒ご理解とご協力をお願い申し上げます。

運営委員長 王寺動物病院 磯田 拓也
運営副委員長 大阪夜間動物急病センター 山上 優美
王寺動物病院 西浦 実紀